



令和 4 年 6 月 2 日
午前・午後 8 時 30 分 受領

No. 1

議長	事務局長	係

令和 4 年 6 月 2 日

愛南町議会議長 原田 達也 殿

愛南町議会議員 池田 栄次

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(答弁 一括方式 ・ 答弁分割方式)

質 問 の 要 旨	答弁を求める者
<p>1. 物価高騰に伴う学校給食の負担軽減について。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の長期化、ならびにウクライナ危機による物価高騰の影響が、学校給食の値上げにつながる事が懸念されます。去る4月1日に、内閣府地方創生推進室より発出された「令和4年度における新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の取扱について」において、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用が可能な事業(例)」の中に、“物価高騰に伴う学校給食等に関する負担軽減”が追加されております。学校給食の食材費は、保護者負担が原則の考え方であると認識しますが、その考え方を維持しつつ、保護者負担を増やすことなく、給食が実施できるよう、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の枠組みを、活用するのが有用と考えます。これらを踏まえて、給食費の値上げに対する考え方と地方創生臨時交付金の活用について質問させていただきます。</p> <p>(1)新型コロナウイルス感染症の長期化、そして本年2月末以降のウクライナ危機により、原材料価格が値上がりしています。食材費の値上がりが一層懸念されます。そこで、学校給食の食材調達の現状と、食材費と予算のバランスを含めた、今後の見通しにつ</p>	教育長

いてお伺いします。

(2)本町においても、物価高騰による給食費値上げを抑える為、地方創生臨時交付金を活用すべきと考えますが、見解をお伺いします。

(3)今般の食材費価格の高騰は、輸入食材に頼る状況に起因するものと考えます。先の質問と相反する部分がありますが、食材の安定供給、地域農漁業の振興の観点から、地域・地元産、国産の食材の使用率を上げることが有効と考えます。本町の地産食材使用率は、国の示す目標値を上回っていると認識していますが、より一層の向上を模索することが有効と考えます。見解を伺います。

2. 四国横断自動車道宿毛内海道路の事業化について。

令和4年3月に四国横断自動車道「宿毛内海道路」のうち「宿毛新港～一本松」間、延長4.7kmと「御荘～内海」間、延長7.6kmが新規事業化されました。国土交通省道路局 国道・技術課の新規事業採択時評価結果(令和4年度新規事業化箇所)によると、事業の必要性では、“南海トラフ地震による深刻な被害が予測される地域において、国道56号の代替路として円滑な救援活動・物資搬送を支援するとともに、広域観光周遊ルートを活用した地域の観光振興や養殖マダイに代表される地域産業支援、高度救急医療などを行える第三次救急医療機関への搬送時間短縮などに寄与するものである。”とされており、また、国道56号の津波浸水予測区間延長の減少や都市部との所要時間の短縮、市立宇和島病院までの搬送時間の短縮、第三次救急医療圏域の60分圏域人口カバー率の増加、国道56号のR<150mのカーブ区間の減少等の効果が掲げられています。平成30年7月の西日本豪雨災害での宇和島市の災害復旧において土砂崩れで通行止めと

町長

なった国道56号の代替道路としての高規格道路の有益性を目の当たりにしたところでもあります。今後、事業計画説明、測量・調査、詳細設計、設計・用地説明、用地幅杭設置、用地測量・調査、用地交渉、工事計画説明、工事、完成・供用開始の手順で事業が行われると認識しています。国土交通省、愛媛県と連携をとりながら事業を行っていくこととなりますが、早期の供用開始を目指しての取り組みについて質問させていただきます。

(1)国土交通省の事業なので制約があると思いますが、差し支えの無い範囲で情報があれば、新規事業の事業費、今年度の事業費、事業内容をお伺いします。

(2)国土交通省道路局 国道技術課の新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）によると（御荘～内海）間の評価項目救助活動等で「愛南町が整備する防災休憩施設は、隣接する松軒山公園と連携し、津波一時避難場所や災害時の進出・活動拠点として位置づけられており、拠点からいち早く国道56号を啓開し愛南町全体へ救援活動・物資輸送を行うため、防災休憩施設へ接続する緊急輸送道路の確保が必要。」関係する地方公共団体等の意見で「愛南町の御荘IC(仮称)ではアクセス道路の整備を推進することとしており、事業が円滑に推進されるよう、地元沿線自治体である愛南町と連携し取り組みます。また、御荘IC(仮称)付近への防災休憩施設を計画するなど、高速道路を活かす地方の取組を加速させます。」とありますが、事業分担の区分と今後の取り組みについてお伺いします。

(3)「内海～宿毛」間全線が供用されてこそ国道56号の代替路としての効果が発揮されるものと考えますが「御荘～一本松」間の事業化にむけての取組についてお伺いします。